

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

233号

★ 2021年2月26日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 懸命の国交省チラシ配布するも

各地で落下物続々

各区では国交省から大々的な羽田問題についての安全神話刷り込みのような大型チラシが配布されました。

その直後、あいにくにも世界各地から飛行機からの落下物事故が報告されました。

20日、アメリカ西部コロラド州デンバーの近郊で20日、デンバー空港発ハワイ・ホノルル行きのユナイテッド航空の旅客機からエンジンの部品が複数、住宅地に落下しました。

21日、マストリッヒ発ニューヨーク行き ロングテイル航空 B747-400BCF が離陸後上昇中に左外側エンジンが破損し、緊急状態を宣言してリエージュに着陸しました。落下したエンジン部品により女性が軽傷を負いました。

昨年12月4日の那覇発羽田行き日本航空 904便（ボーイング 777-200）のエンジン破損事故もP&W社製の同系列エンジンを搭載していたので、「羽田問題解決プロジェクト」の大村代表は、同じエンジン搭載の飛行機の飛来を中止する緊急要請を国交省に行いました。

常盤台でも起こりうる！落下事故

私たちの頭上が旅客機の航路になっている今、同じような事故がいつ起きても不思議ではないのです。

「クリティカル 11」離陸3分と着陸8分の間が飛行機事故の起こり易い魔の時間帯といわれていますが、新航路ではまさに東京上空が当たっています。この危険は想定外とは言えません。

○ 羽田問題訴訟第2回公判

2月5日（金）11時から東京地裁で都心低空飛行についての行政訴訟の意見陳述がありました。当日は前回同様、9時半から傍聴の抽選が行われ、103号法廷は密を避けるため50名以下の傍聴人が入りました。

原告一人の意見陳述が行われましたが、被告側からは毎回聞かされなくても、という要望が出ていました。裁判官は特に制限する気はないようです。次回は5月12日（水）15時。

2/18付日経の記事によりますと、「乗る側」の意識の変化も大きく、欧州投資銀行の21年の調査によると、コロナが収束して渡航制限が解除されても、気候変動対応のために飛行機に乗る頻度を減らすと答えた人は欧米で7割、中国で8割に上ったそうです。

○ オリンピックはどうなる？

一年延期したオリンピック・パラリンピックですが、冷静に判断すると、今年の7月開催はどうみても無理な気がします。

海外では猛威をふるっている最中で、開催地の東京も後手後手の対策のために、入院相当の人達が薬も投与されず自宅で何千人も待機している、というより見放されている状況ではありませんか。どんなに認めたくなくても、実際に医療崩壊を起こしているのです。

頼りのワクチンも日本人に行き渡るのはいつになるのか不安です。

止めたいと言い出すと、膨大な損失に加え、違約金などが発生するので、JOCもIOCも東京都も言い出せないのでしょうか。WHOの命令なら仕方が無いと他人に責任を負わせるのかも知れません。

このまちの野良猫(3)

野良猫に餌をやる人がいます。不妊手術をするので、餌をやって捕まえやすくするため。手術後の猫の命を見守るため。ただ単にお腹を空かせている猫がかわいそうだから。理由は様々ですが、忘れてはならないのは、世の中には猫が嫌いな人や餌やりを快く思わない人がいるということなのです。

自分の家の庭で餌をやっている分にはまだいいのですが、道や公園でやる人たちに必ず守ってほしいことがいくつもあります。

1. ドライフードに限る
猫缶フードの臭いは強烈です。暖かい季節には劣化が早く更に強く臭い、蟻やナメクジを引き寄せ不快です。魚、肉、蒲鉾などは論外です。

2. 容器に入れる。
地面に直に置いた餌は、泥がつきやすく湿気も帯びます。蟻もすぐに寄ってきます。こんな餌は猫は食べません。残りはゴミになってしまいます。

3. 後片付けをする
餌をやりつ放しにして、片付けを近所の人に任せていませんか？餌をやった後を必ずきれいにしましょう。三〇分〜一時間後に見に来れば、餌の残り具合でその場所に必要な餌の量がわかります。全部食べてあれば次回は少し多く、残りが多ければやる量を減らす、など餌の量を加減できます。また、容器に入っていれば片付けも楽です。

前に野良猫への餌やりは不妊手術が大前提と書きましたが、捕獲も大変ですし、費用も

かかるので誰もができるわけではありません。しかし、猫嫌いの人の持つ野良猫への印象を更に悪くすることは避けたいです。マナーを守って、常盤台が人と猫が共存できる町になりますように。
N・Y

本当に日本が男女平等になったら

森JOC会長の女性蔑視発言が契機となつて、日本のジェンダー問題が世界に知れ渡ってしまい、さすがの強固な男性中心社会もヒビが入り始めたようです。しかし、何世紀ものこの国の歴史や文化を変えて行くには、相当な覚悟や勇気が必要でしょう。男性にも女性にも

もしも、本当にこの日本が男女平等の国であるというなら、次のことが実現されていなければならぬのではないのでしょうか。

- * 皇室は国民の象徴なのだから、世界の王室の潮流に従って、男女の別なく長子相続とすべき。従って次期天皇は愛子さんとなる。
- * 国技と自称している相撲は、男女の別のない柔道に国技の座をゆずり、土俵上で女性の小池都知事から都知事杯を受け取る。
- * 選択制別姓制度を即実施し、世界の唯一の数世紀遅れの恥を挽回する。
- * 全ての司法・立法・行政の決定機関では男女半々を目指し、とりあえずは四〇%を女性とする。
- * 性犯罪の罰則を重くする。

ジェンダーフリーに努力なさっている人たちは、まだまだ意見があるようですが……

常盤台公園のはなづくり

チューリップの芽が出ています。今年はピンクが主流になってきているはずですが、去年がド派手だったので、少々心配です。パンジーは相変わらず籠でネコから保護されています。時々しか花ガラを摘んでいないので、去年のような大株にはなっていないようです。

角の花壇では例年通りクリスマスローズが花盛りを迎えています。Sさん・Tさんが枯れ葉を除去してきれいに整理してくれました。なんだか少なくなつて元気がないような気がしますが、株分けの時期になつているのかもしれない。

Aさんから早くも夏みかんと八朔を沢山届けて頂きました。例年なら三、四月ごろにいただいたような気がしますが、年々収穫時期が早まっているようなのは、やはり気候変動のせいなのでしょう。

さっそく瓶の注文を出して準備にかかります。グラニュー糖も購入して……と。オレンジピールにも挑戦して、チョコレート溶かして塗ってみましょう。

今年は選挙があるので、バザーの時に求めただければ幸いです。ただ保管場所の問題で頭が痛いので、早めに注文してください。だされば今でもお届けいたします。来年も花壇は継続のようですので、よろしくお願ひ致します。

